

第12回米軍経ヶ岬通信所の設置に係る安全・安心対策連絡会の概要

- 開催日時 平成29年6月6日(火) 1300～1415
- 場 所 京丹後市役所峰山庁舎 2階会議室
- 出席者 【京都府】総務部副部長、丹後広域振興局長
【京都府警察本部】警備部理事官(警備第一課長代理)
【京丹後警察署】警備課長(京丹後警察署長代理)
【京丹後市】副市長
【地域住民代表】京丹後市区長連絡協議会会長
京丹後市防犯委員会会長
京丹後市交通安全指導員会会長
宇川連合区長会会長兼丹後町尾和区長
丹後町袖志区長
丹後町中浜区長
網野町島津連合区長
【米軍経ヶ岬通信所】経ヶ岬通信所司令官
【航空自衛隊経ヶ岬分屯基地】第35警戒隊総務人事係長(第35警戒隊長代理)
【近畿中部防衛局】企画部長、管理部長、京丹後現地連絡所長

○近畿中部防衛局からの説明

- I 経ヶ岬通信所における状況等
 - (1) 工事等の状況
 - (2) 交通事故の状況
- II 住民の安全・安心
 - (1) 交通安全に対する取組
 - (2) 交通誘導及び巡回警備
 - (3) 環境調査
- III 日米交流及び地域振興策の状況
 - (1) 日米交流
 - (2) 生活・産業への影響に対する対策
- IV その他
 - (1) 航空自衛隊工事
 - (2) 近畿中部防衛局広報誌について

○米軍経ヶ岬通信所司令官挨拶

- ・ 生活関連施設の工事を今年の秋に開始するため、現在、予定通りの計画で進めている。三角地の取得によって、安全な場所に基地への進入口を設けることができ、国道沿いの事故や渋滞の可能性を最小化することに寄与するだろう。
- ・ 商用電力の状況については、先ほど近畿中部防衛局から説明のあったとおり遅れることに

なり、残念に思っている。皆さんの失望も理解しているが、私たちが、地域の安全を考慮しながら、可能な限り早期に導入が完了するよう全力で取り組んでいることをご理解いただきたい。

- ・ 私たちは安全運転に対する努力を続けている。交通安全講習会への関係機関の支援に感謝する。また、この地域に新しく来た職員が運転の前に準備できるよう、近畿中部防衛局が提供してくれたDVDの使用も続けている。
- ・ 4月に軍人がホテルから島津区のアパートに移り、通勤時間の短縮のみならず、生活環境全体も改善された。私たちを受け入れて下さった島津区の皆様に感謝したい。
- ・ 今回は、私にとって最後の連絡会となる。この20ヶ月間、皆様から御支援いただいたことに、私個人として感謝申し上げる。これまでいくつもの課題があったが、私が経験した中で最も価値のある機会の一つとなった。アメリカ人の小さなグループをこの地域の一員として受け入れて下さった皆様のご理解に感謝したい。後任のマクダフィ大尉が司令官になった後も、この関係を継続していただければ幸いである。皆様の今後のご多幸をお祈りする。

○出席者の意見等の概要

(1) 商用電力

【意見要旨】

- ・ 京都府は、連絡会等を通じて、再三にわたって早期導入について要請や確認を行ってきたところ、今回の遅れは受け入れ難く、誠に遺憾である。1日も早い導入へ向けた実効的な取組についてどのように考えているのか。(京都府)
- ・ 発電機に伴う騒音問題と交通事故は重要な課題である。1日でも早く地域の皆様が騒音の問題から解放されるよう尽力されたい。(京丹後市)

【回答要旨】

- ・ 商用電力の早期導入については、これまで京都府、京丹後市をはじめとする関係機関や地元の皆様より、累次にわたってご要望を受けてきた。そのような中で、今般、導入が遅れるという報告をせざるを得なかったことを大変申し訳なく思っている。現在、米側においては、確実かつ可能な限り早期に導入するための最善の計画で進められていると聞いている。当局としては、米本国で行われる機器の製作や、日本で行われる設置工事の進捗に合わせて、技術的見地からの助言を行いつつ、可能な限り工期が短縮されるようあらゆる方策を検討してまいりたい。(近畿中部防衛局)

(2) 交通安全対策

【意見要旨】

- ・ 高速道路が大宮まで開通し、夏休みになると観光客の増加が予想される。狭い道が多いという道路状況は既によくご存じだと思うが、より一層、交通安全に注意されたい。(地域住民代表)

【回答要旨】

- ・ ご指摘の件については、当局より改めて米側にしっかり伝え、交通事故の未然防止に努めてまいりたい。(近畿中部防衛局)

【意見要旨】

- ・ 前回の連絡会において、交通安全マップが更新され、また、更なる交通事故防止への取組としてDVDが作成されたとの報告があった。このDVDは全ての軍人・軍属の方に配付・周知されていると聞いており、交通事故防止に役立てられていることを有難く思っている。国道178号線の上野地区から平地区については、特に道幅が狭く急カーブが多い。このような特殊な地域事情がある中で、注意喚起すべき道路情報を米側や一般の観光客及び住民に周知する必要があると考えるが、交通安全対策について更に取り組んでいることがあればお聞かせ願いたい。(地域住民代表)

【回答要旨】

- ・ 今般、京丹後警察署のご協力をいただき、峰山の市街地や島津の集合住宅から経ヶ岬通信所までの通勤路において、運転の際に注意を要するポイントや推奨ルート、なるべく車での通行を避けるべき危険な道を、マップと実車映像で解説したDVDを作成し、米側に提供した。ご指摘のあった国道178号線の平地区から上野地区間の道路についても、このDVDに映像を収録して注意喚起しているところ。今後とも、交通事故の未然防止に向けて努力してまいりたい。(近畿中部防衛局)
- ・ 上野平バイパスの進捗状況について、現在、用地買収が50%ほど進んでいるところである。現時点では、予定通り平成33年度中の工事完了を見込んでいる。そのほか、緊急を要するところなどについては、積極的に工事を進めていく考え。なお、筆石の道路情報板について、この冬から注意情報を英語で表示していたが、5月31日午後5時より、通常時にも英語表示を開始したことをお知らせする。(丹後広域振興局)

(3) 近畿中部防衛局広報誌

【意見要旨】

- ・ 近畿中部防衛局広報誌はどのように配付されるのか。是非、全戸に配付可能な枠組みを検討していただきたい。(地域住民代表)

【回答要旨】

- ・ 配付部数、配付方法については現在検討中であり、今後、関係機関と相談しながら進めてまいりたい。(近畿中部防衛局)

(4) その他

【意見要旨】

- ・ 昨今、北朝鮮による弾道ミサイル発射実験が繰り返されており、宇川地区は不安を感じている。万が一の事態に備え、関係機関が連携して安全対策に取り組んでいただくようお願いする。国は、国民保護ポータルサイトで「弾道ミサイル落下時の行動」や「弾道ミサイル落下時の行動に関するQ&A」を紹介しているが、各関係機関の取組があればお聞かせ願いたい。(地域住民代表)

【回答要旨】

- ・ 自衛隊では、他国からの攻撃を未然に防止するため、航空機や艦艇などによる警戒監視活動を常に行っており、万全の体制をとっている。米軍経ヶ岬通信所に配備されているTPY

ー2レーダーは、弾道ミサイル防衛システムの一部を構成するものであり、仮に一つのレーダーが無効化されてもシステム全体を無効化することにはならない。このため、経ヶ岬が攻撃される可能性が高まるものとは考えられず、むしろ、我が国の防衛能力の強化に寄与するものである。さらに、弾道ミサイル落下時の行動に係る国の施策について申し上げますれば、内閣官房や総務省が主体となり、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせすることとしている。(近畿中部防衛局)

- ・ 京丹後市としては、弾道ミサイルが当地域に落下する可能性がある場合、国から発信される避難等の指示を迅速かつ的確に、市民の皆様にお伝えすることが市の役割であると考えている。屋内待避等の必要がある場合は、全国瞬時警報システム（「Jアラート」）を活用して、市の防災行政無線で特別なサイレン音を流し、屋内退避を呼びかけるメッセージを放送する。これらのミサイルに係る情報については、既にホームページで周知しているが、今後、市の広報誌にも掲載したいと考えている。(京丹後市)

【意見要旨】

- ・ 経ヶ岬通信所に設置されたトイレについて、前回の連絡会では、2月の中旬に使用が禁止されたと説明があったが、その後の動きについてお聞かせ願いたい。(地域住民代表)
- ・ ご指摘のトイレについては、現在も引き続き使用は中止されているが、今後の処置については米側において調整中であると聞いている。今後、具体的な対応が分かり次第、お知らせしてまいりたい。(近畿中部防衛局)

(以上)